

ビバ・メキシコ：米国の雇用主がメキシコで事業を拡大する理由

Insights

9.26.23

メキシコは過去数年間で大規模な労働改革を実施し、現在ではアウトソーシングと事業拡大に最適な場所の一つとなっています。メキシコでのビジネス、特に雇用に関する古い誤解や時代遅れの概念から、国境を越えた事業運営をためらっているかもしれません。しかし、今が見直しの絶好の機会です。この記事では、メキシコの変革と、なぜ今がビジネスチャンスなのかを簡潔にまとめています。

新しい国境を越えた条約が大きな転換点に

パンデミック初期に最終決定された新協定により、米国企業のメキシコでの事業展開が大幅に容易になりました。当時は差し迫った課題に注目が集まっていたため、見逃してしまった方も多いでしょう。また、再交渉された貿易協定があなたのビジネスにもたらす影響を即座に理解するのは難しかったかもしれません。

具体的には何が起こったのでしょうか？米国、メキシコ、カナダは2020年7月に北米自由貿易協定（NAFTA）に代わる新しい貿易協定に合意しました。米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）は、「NAFTA 2.0」または「新NAFTA」とも呼ばれています。これは、従来の協定の欠点を解消し、21世紀に向けて条項を現代化した「アップグレード版」と言えます。3か国の立法者たちが圧倒的な超党派多数で可決したことからも、これらの変更がビジネスと労働者の双方にとってメリットがあることが分かります。

主な変更点

数百ページに及ぶ条約の複雑なテキストを詳細に見ていくのではなく、メキシコへの事業拡大を検討する米国の雇用主が押さえるべき重要なポイントに焦点を当てましょう。

メキシコの労働改革

USMCAがもたらした最大の転換点は、メキシコの労働法の大幅な改革です。

- メキシコでは**労働法の抜本的な変革**が実現しました。ストライキの減少、より良い交渉結果、より調和のとれた労働環境が生まれています。透明性のある組合選挙と契約に重点を置いた改革により、雇用主、労働者、組合間の関係が大幅に改善されました。
- メキシコの労働改革により、米国企業にとって魅力的な**透明で一貫した規制の枠組み**が整備されました。明確な規制環境により、雇用主はより自信を持って労働者を雇用・訓練し、給与を

支払い、メキシコでの事業に投資できるようになりました。この明確な枠組みにより、米国とメキシコの両国の企業が、貿易とビジネスの全体像を把握した上で、将来の戦略を立てることが可能になりました。

- さらに、**完全に刷新された労働裁判所制度**が導入され、代替的な紛争解決が重視されています。訴訟に至る事案についても、より明確で予測可能な結論への道筋が示されています。この予測可能性により、企業は確実に健全なビジネスプランを作成できるようになりました。
- 加えて、**労働基準の強化と労働条件の改善**により、メキシコで事業を行う米国企業に対する批判的な見方が軽減されています。これらの前向きな変化により、米国企業が南の隣国との投資関係を深める自信が高まっています。

効率化された越境協力体制

いくつかの手続き上の改善により、国境を越えた協力の新時代が幕を開けました。

- USMCAは**デジタル貿易**に関する明確なルールを確立し、成長と国境を越えた協力を促進しています。具体的には、各国がお互いにデジタル製品に関税を課すことを防止しています。これにより、電子書籍、ビデオ、音楽、ソフトウェア、ゲームなどの製品が関税なしで国境を越えられるようになりました。
- さらに、より厳格な**知的財産保護**により、イノベーターは自らの創造物からより多くの利益を得られるようになり、侵害のリスクも軽減されました。特許と商標の保護が強化されたことは、製造業、ライフサイエンス、金融サービスなどの産業にとって特に重要な意味を持ちます。
- また、この協定は国境を越えた事業を妨げていた**複雑で官僚的なシステムの多くを撤廃**しました。例えば、物品の交換時に電子署名と原産地の自己証明が許可されるなど、商取引の流れが大幅に改善されています。

これらすべての変更の結果、米国企業がメキシコで事業を展開することが格段に容易になりました。メキシコのパートナーとの合弁事業、パートナーシップ、その他の取り決めが改革を追い風に急増しています。製造業や輸出業など貿易の恩恵を受ける業種だけでなく、銀行、保険、法律、エンジニアリング、プロジェクト管理、技術など、サービス産業全般にも大きな機会が生まれています。

メキシコの労働改革の恩恵を受けているのは米国企業だけではありません。世界中の投資家がメキシコの潜在的可能性に注目し、安全で進歩的なビジネス環境として評価しています。メキシコへの資本投資の増加は、そこで事業を展開するすべての企業に波及的な効果をもたらすでしょう。

自動車製造業の飛躍的成長

USMCAの恩恵を最も受けている産業の一つが自動車製造部門です。条約のいくつかの具体的な規定が、自動車生産を米国、メキシコ、カナダに維持することを奨励しています。関税免除の条件と

して、車の部品の75%が3か国のいずれかで製造されている必要があります（NAFTAでは62.5%）、さらに部品の40-45%は時給16ドル以上を稼ぐ労働者によって製造されなければなりません。

これらの変更により、メキシコの自動車産業は急速に成長しています。メキシコ自動車工業会（AMIA）の報告によると、2021年のメキシコの自動車生産台数は前年比6.6%増の305万台に達しました。さらに、米国の自動車メーカーによるメキシコへの投資も活発化しており、例えばGeneral Motorsは2020年から2024年までの5年間で10億ドル以上をメキシコ工場に投資する計画を発表しています。これらの動きは、雇用創出と技術移転の面でメキシコ経済に大きな利益をもたらしています。

今後10年間の展望

USMCAの影響がビジネス全体に広がるにつれ、越境事業を展開する企業の評判が高まるでしょう。環境、社会、ガバナンス（ESG）原則への注目が高まる中、多くの消費者が社会的責任を果たす企業を支持する傾向にあります。この協力から生まれる改善された労働、環境、社会的慣行を積極的に取り入れることで、企業は進化するビジネス時代の最前線に立つチャンスを得られるでしょう。

さらに詳しく知りたい方へ

Fisher Phillipsチームは、これらの改革があなたの企業にとってどのように有利に働くか、具体的なアドバイスを提供し、メキシコでの事業立ち上げをサポートいたします。ご質問がある場合は、担当のFisher Phillips弁護士または本記事の著者にお問い合わせください。[Fisher Phillipsメキシコオフィス](#)では、このトピックに関連する質問や、労働法に関するあらゆる課題についてサポートさせていただきます。最新の情報を直接受け取りたい方は、[Fisher Phillips Insights](#)にぜひご登録ください。ビジネスの成功に役立つ重要な法的動向をいち早くお届けします。

Related People



Germán de la Garza De Vecchi
Regional Managing Partner
55 / 40 / 0155

+55 4186 8175

電子メール



John M. Polson

Chairman & Managing Partner

949.798.2130

電子メール



Nan Sato, CIPP/E, CIPP/C

パートナー

610.230.2148

電子メール





William D. Wright

パートナー

610.230.2137

電子メール

Service Focus

International

Related Offices

Mexico

Tokyo